

第297号・2025年10月27日（月）

発行・東北大学職員組合書記局

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1

内線 片平（91）5029

022-227-8888 (TEL) 022-227-0671 (FAX)

<https://tohokudai-kumiai.org/>

編集・コア編集委員会



***議論削減は民意のカット**

***斬るべきはウラガネ政治**

***非正規職員にボーナスを**

東北大学

ついに、こっそり、軍事研究解禁

2025年度防衛装備庁の「安全保障技術研究推進制度（SATR）以下SATR（と略す）」に、東北大学の研究者による2件の課題が採択されました。

2025年度防衛装備庁の「安全保障技術研究推進制度（SATR）以下SATR（と略す）」に、東北大学の研究者による2件の課題が採択されました。

制度の目的と仕組み

SATRとは「革新技术の芽を発掘して防衛分野で活用できることを期待しつつ、国の科学技術力を底上げする」目的で、防衛装備庁が2015年度に始めた事業です。毎年約100億円が予算化されています。研究案を募り、最大20億円（5年）／最大1300万円（年）が支援されます。

大学等からは、防衛装備庁から研究の「委託」を受ける従来の形式では応募しづらいと、この度は今年から、研究者が自発的に行う研究を「補助」する事業（予算10億円）を新設し、ハードルを下げました（2025年度の大学からの応募件数は、過去最多の123件で、前年度の約3倍に）。また軍事研究の色を薄めるために、「防衛分野での将来における研究開発に資することを期待し、先進的な基礎研究を公募する」として、基礎研究への支援であると喧伝しています。東北大学も「軍事利用を直接の目的としない」と判断したと説明しています（河北新報、2025年9月20日朝刊）。一方でこの制度は、「先進技術の橋渡し研究（「防衛生産・技術基

東北大学の対応

本制度への応募をめぐり、東北大学の方針は「応募禁止」から「相談制」へと転換しました。今年度、本制度には49件が採択され、東北大学、九州大学、北里大学等の7校が初めて採択となりました。東北大学からの応募数は不明ですが、結果的に2件が採択されました。前年度までは、東北大学からの応募はありませんでした。一体何が起ったのでしょうか。そもそも東北大学は、

2014年7月の「東北大学における軍事・国防に関する研究等の基本的考え方（研究推進本部）」において、「軍事・国防に直接繋がる研究を行ってはならない」と示しています。その後、2022年4月の「令和4年度安全保障技術研究推進制度について（理事・副学長）」において、「令和4年度公募について、本学研究者が研究実施者（研究代表者または研究分担者）として応募することは認めない」と明確に禁止しました。これは、対応プロジェクト等が検討した方針に基づき、慎重な対応が必要であるためとされています。

同時期の2023年3月の「東北大学における研究行動規範（役員会）」にも同じ文面が示されています。最新の2025年3月26日に役員会で制定された「東北大学における研究行動規範」においても、東北大学の使命である平和で公正な人類社会の実現に貢献するため、「軍事的利用を直接の目的とする研究は行わない」と明記されました。

しかし、2023年3月17日に「各種研究費申請時における研究インテグリティの確保について（理事・副学長）」を発し、応募申請について「認めない」ではなく、大学の研究推進部に「ご相談いただく」という扱いに変更しました（個別相談制）。この依頼は、その後、申請締め切り1か月前を目途としていた相談期限を6週間前を目途に改めた2025年3月14日付の文書で改めて発出され、2023年版は廃止・更新されています。

そして、2024年中に何らかの判断が下され、2025年に応募が行われたという経緯（2面へ）

(1面より)

緯です。これにより、明確な禁止方針から個別相談の上で応募が可能となる運用に転換され、事実上、禁止が緩和されるという矛盾が生じています。

看過できない

説明責任と研究倫理

軍事研究は、過去に大学および研究者が競争に加担した歴史を考えると、大学自体の最重要案件であり、極めて慎重にすべき事項です。

加えて、東北大学が「国際卓越研究大学」の構成員としての責任を負う中、巨額な助成金制度の下で研究資金獲得をめぐる競争や軍事研究推進の圧力が強まる懸念があります。

しかし東北大学当局は、上記の経緯や本制度への対応について、学内の構成員に全く説明していません。今回の採択後も、全く見解を示

していません。

実際、職員組合が2025年8月に軍事研究に関する団体交渉を申し入れた際、大学当局は「軍事・国防研究は義務的交渉事項ではなく、今後もあり得ない」として交渉自体を拒否しました。大学側

は、S A T R Pを「基礎研究であって軍事研究ではない」と強弁し、研究者の自由や倫理問題が労働条件に直結するという組合側の主張を退けました。学内構成員への周知・合意形成がないまま、軍事研究が事実上解禁されたことが判明しています。

申請・軍事研究については、デュアルユース論や、直接的か間接的か、研究の自由など、様々な意見があります。したがって、本制度への対応については、深い議論と広い理解が必要です。

組合の財政にご支援ください
ちひろカレンダー
1本1,500円(消費税はいただきます)
書記局にご連絡を

東北大学職員組合 新春交流会

2026年 1月 9日(金)

を拒否し、議論の場を封じたことを受け、2025年9月11日に見解を発表し、東北大学当局が何の説明もなく軍事研究を解禁したことに極めて強く抗議しました。

(片山知史執行委員長)

東北大学職員組合定期大会

**軍事研究を許さず
教職員の待遇改善
めざす運動を確認**

7月26日定期大会が開かれ、新年度の活動がスタートしました。

新体制は左記のとおりです。

執行委員長

片山 知史

副執行委員長

黒瀬 一弘

書記長

千葉 裕輝

執行委員

太田 宏

クラウド・オリオン

金子 淳

後藤 洋子

高橋 京

会計監査

鈴木 大介

中野 俊樹

第71回日本母親大会

2026年、30年ぶりに
仙台市で開催されます

2026年9月12日(土) 13日(日)

実行委員募集中!

男女共同参画推進せんだいフォーラム

宮城県労連女性部企画

**講演会「仕事の世界における
ハラスメントと暴力をなくそう」**

講師：全労連女性部長 高木りつ氏

11月14日(金) 18:15~20:00

エル・パーク仙台5階セミナー室

申し込み不要です

お気軽にご参加ください

一番町法律事務所 50周年を祝う会

困ったときに頼りになる存在

9月11日、エル・パーク仙台で開催されました。一番町法律事務所は東北大学職員組合の顧問であり、所属の小野寺義象(よしかた)弁護士は事務所の代表です。そして事務所の皆さんは、2018年から2023年にかけて私たちが闘ってきた、東北大学の大量雇止め問題(労働審判、労働委員会への申立て、および訴訟・労働審判から移行した裁判)を、中央法律事務所の弁護士さんたちとともに、全面的に支えてくださいました。御礼の気持ちを含めて、参加してきました。

一番町法律事務所は1975年、仙台民主法律事務所として設立され、1986年から現在名称となりました。市民の生活と権利、労働者の雇用と待遇を守る事務所として、多くの事件・争議を担ってこられました。特に松山再審事件、東北造船争議、三陸ハーネス争



東北大学の雇止め争議でお世話になりました

祝辞では、「困った時の一番町法律事務所」と紹介されました。お世話になった市民は1万人を超えとも言われています。多くの方から頼りにされる存在、そして心の拠り所となる意義を改めて感じた次第です。組合も、大

学の教職員から信頼される組織であり続けることが重要です。さらに、社会全体が右傾化する中で、憲法を守る取り組みを協同して強めていく必要があると感じました。

(片山知史執行委員長)

宮城県労連第37回定期大会

労働基準法の改悪を許さない！

9月6日、ショークービルで開催されました。17単組中14単組、代議



あいさつする高橋正行議長

員56名中44名が出席し、運動方針案を中心に討議しました。

宮城県では、県知事が強引に4病院の移転統合を進めてきました。が、県労連を含めた幅広い運動によって、2病院が移転を断念しました。25春闘では、前年を約600円上回ったものの、単純平均で月額8551円の賃上げとなり、不十分な水準にとどまりました。

加盟組合においては、宮城一般で1万円台の賃上げを獲得しました。また福祉保育労の保育

分野では、政府の「処遇改善加算金」を活用させ大幅な賃上げを勝ち取りました。一方、医療・介護分野では、病院の7割が赤字で、訪問介護の倒産が増えている中、ベアの獲得が厳しい状況となっています。公的医療の拡充、報酬改定が求められます。

各単組のとりくみの紹介、経験交流が行われたのち、各議案の採択、および「労働基準法の改悪を許さず、長時間労働の根絶・労働時間短縮など改善を求める特別決議」

を採択して、閉会となりました。

なお次期役員として、東北大職組から事務局次長に千葉裕輝書記長、会計監査に後藤洋子執行委員が選出されました。

ひきだし

「かてい」の話

執行委員 三浦 光男

未曾有の記録的な酷暑も喉元過ぎれば、朝夕の出勤時に寒さを覚える今日この頃。

さて、私儀 昨年七月から奉職、今年中途で組合員となり、その勢いで執行委員となりました。どうかよろしくお願いします。

本学でのデビュー戦は八月二十六日当局との団体交渉。「軍事・国防に関する研究等に対する東北大学の方針と対応について」に関し、山下理事が繰返す「大学では軍事研究に関し、明確なポリシーがあるので、『もしも研究者がデュアルユースに繋がる研究に着手したら、・・・となる懸念がある』といった仮定の話には答えられない」は、今も理解で

きません。はて？「仮定」とは？

あの日、千年に一度の大地震津波を経験した東北人の一人として、〇・〇〇％でも起こり得ることは起こり得て、だから事前に万全に備えて憂いを無くすのが、多くの人命・財産を失った代わりの大

きません。はて？「仮定」とは？
あの日、千年に一度の大地震津波を経験した東北人の一人として、〇・〇〇％でも起こり得ることは起こり得て、だから事前に万全に備えて憂いを無くすのが、多くの人命・財産を失った代わりの大

きません。はて？「仮定」とは？
あの日、千年に一度の大地震津波を経験した東北人の一人として、〇・〇〇％でも起こり得ることは起こり得て、だから事前に万全に備えて憂いを無くすのが、多くの人命・財産を失った代わりの大

きません。はて？「仮定」とは？
あの日、千年に一度の大地震津波を経験した東北人の一人として、〇・〇〇％でも起こり得ることは起こり得て、だから事前に万全に備えて憂いを無くすのが、多くの人命・財産を失った代わりの大

きません。はて？「仮定」とは？
あの日、千年に一度の大地震津波を経験した東北人の一人として、〇・〇〇％でも起こり得ることは起こり得て、だから事前に万全に備えて憂いを無くすのが、多くの人命・財産を失った代わりの大

きません。はて？「仮定」とは？
あの日、千年に一度の大地震津波を経験した東北人の一人として、〇・〇〇％でも起こり得ることは起こり得て、だから事前に万全に備えて憂いを無くすのが、多くの人命・財産を失った代わりの大



きません。はて？「仮定」とは？
あの日、千年に一度の大地震津波を経験した東北人の一人として、〇・〇〇％でも起こり得ることは起こり得て、だから事前に万全に備えて憂いを無くすのが、多くの人命・財産を失った代わりの大

りながら我々組合をだます芝居の「コマ」過程」だったのですね？
私も口先だけの「失効委員」にならぬよう、皆さんが安心して誇りを持って仕事ができるように頑張ります！

このような過疎・過密の状況にさせた政治の責任で早く対策を打って、日本のどこでも安心して暮らし続けることのできる社会にしたいと強く願ってききましたが、効果的な手立ても打たれず今日に至り、人口減少を前提に学校や病院の統廃合が進められています。

岡田先生は、地域経済をつくる、地域社会を維持する最大の経済主体は、地域に根差した中小企業・業者であり、農家、協同組合、NPO、地方自治体などだと言います。災害時、地域の商店は大変な中でも店を開き、困った人の頼りになったが、大企業は略奪防止のためにチャッターをおろしたという話に納得しました。

「人間らしい暮らし」を回復する地域づくりが、災害の時代及びグローバル化時代だからこそ求められていると話されました。(編M)

編集委員のちょっとそこまで

「人口減少問題とまちづくりを考える」

岡田知弘京都橘大学学長の講演を聞いて

9/13県労連主催学習会

2014年に発表された増田寛也元総務大臣らが発表した「増田レポート」には、2040年までに自治体の半数が消滅する可能性がある」と書かれていますが、要因分析がいかに弱いかがわかりました。また、過疎地を生まれ故郷にもつ私は、

このように過疎・過密の状況にさせた政治の責任で早く対策を打って、日本のどこでも安心して暮らし続けることのできる社会にしたいと強く願ってききましたが、効果的な手立ても打たれず今日に至り、人口減少を前提に学校や病院の統廃合が進められています。

岡田先生は、地域経済をつくる、地域社会を維持する最大の経済主体は、地域に根差した中小企業・業者であり、農家、協同組合、NPO、地方自治体などだと言います。災害時、地域の商店は大変な中でも店を開き、困った人の頼りになったが、大企業は略奪防止のためにチャッターをおろしたという話に納得しました。

日程表

*9条を守り生かす宮城のついで2025

11月2日(日) 13時

講演 秋葉忠利氏

編集後記

「みんなの声をすくい上げる仕組み(代表制)」
「生活の安心を支える仕組み(ケア)」
「新しい知を生み出す仕組み(知)」が、いま同時に細りつつある。

国会で議席が減れば、地域や少数派の声は政策に届きにくくなる。医療機関の経営が厳しさを増せば、費用負担が膨らみ、誰もが安心して暮らせなくなる。大学の研究では資金獲得競争が激化し、「安全保障」の名のもとに研究の自由が狭められるおそれがある。

研究は自由でオープンに、未来は平和に、医療はすべての人へ。

(編O)